DFD（データフローダイアグラム）は、機能とデータの流れの関係を整理する手法で、データの流れとともにシステム機能を記述する。

DFDの記号

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名称 | 記号 | 意味 |
| データフロー | データ名 | ・データの流れを示す。  ・データには名前を付け矢印線の上に記述。  ・矢印線は分岐、合流させない。 |
| 機能（処理） | 機能名 | ・入力から出力データへの変換を示す。  ・処理内容、処理名を記号内部に記述する。 |
| データストア | Or  Or  データストア名  データストア名 | ・記述されるデータ名を記述する。  ・データ名で示されるファイルである。 |
| 外部 | 発生源  行先  発生源  行先  Or | ・コンピュータの外部にある部門を示す。  ・データの発生源または、行先を記述する。 |

※機能、データストア、外部についてどちらを使用しても良いが、授業では左側の図で統一する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ドキュメント名称 | システム名称 | 作成日付 | 担当者 |
| **DFD** |  |  |  |
| 発注情報  **サンプル**  入庫情報  発注ファイル  商品  メーカー  商品情報  入庫情報  入庫ファイル  商品情報  メーカー情報  商品マスタ  メーカーマスタ  申込  取扱商品  メーカー情報  登録・更新情報  メーカーマスタ | | | |